

第1回 カナルの家 地域連携推進会議

日時：2026年3月28日（土）11：00～12：00

場所：カナルの家1階リビング

参加者

カナルの家 大家様 畑〇様

民生委員 凧〇様

利用者 三〇交〇様

家族 三〇 〇様（利用者様成年後見人）

三〇 〇〇様（利用者様ご家族）

職員 齋藤 （管理者）

議事録

1. 開会

この度は急な呼びかけ、ご依頼にもかかわらず、足をお運びいただき、誠にありがとうございます。

開会に際しまして、本会議は①利用者と地域との関係づくり②地域の人への利施設等や利用者に関する理解の促進。③施設サービスの透明性・質の確保④利用者の権利擁護の目的を達成するために本年度より年以1回以上開催することが義務となりました。

2. 議事

2024年度事業報告 2025年度の事業目標について

・重点課題・重点目標の結果

権利擁護、虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み

虐待防止に向け、毎月実施しているが虐待防止チェックリストを活用しながら防止、早期発見に取り組みました。2024年度が虐待に繋がる事案は確認できませんでした。

リスクマネジメント体制の強化

利用者様の高齢化、怪我リスクの懸念が増加傾向です。日々の声掛けをしたり、注意が必要な場面での見守りを強化してきました。

利用者様の充実した人生を送るための取り組み

配食サービス先の変更をし、ホームでの調理、提供することでバランスの取れた食事の提供に努めました。また毎朝の検温、必要な方は体重、血圧のチェックも行ってきました。訪問

看護につき 1 回の訪問を行ってもらい、利用者様の健康維持に努めました。余暇活動の一環として誕生日の方がいる月に誕生日レクを、12 月は夕食をお楽しみメニューにして利用者様の楽しみになるよう企画をしました。

2025 年に入り

管理者齋藤の着任後、4 か月にホームが抱える課題について取り組む中で、各職員の業務遂行能力が習熟、課題の本質的な解決に向け考え新に検討中。また 2025 年 12 月にも利用者様の体調悪化により、退所されたこと、職員の退職などもあり、課題は続く。

今後のホームの役割として、新入職員や新規役職者の研修受け入れなど職員が安心して経験を身に着けることが出来る機能を持たせたい。

カナルの家の特徴

- ・介護包括型グループホーム 365 日。
- ・短期入所（最大 1 日 2 名）

自立度が高い方が多く、一般就労（障害者枠）でお勤めの方も 2 名いらっしゃいます。

短期入所の方は主に重度の知的障害の方が多事業所です。

- ・筋ジストロフィ症の方もおり訪問看護、訪問入浴、またリハビリの為理学療法士利用されている方もいらっしゃいます。
- ・BCP（業務継続計画）の策定状況（別紙参照）

- ・虐待、事故、ヒヤリハットの報告 ※別紙 資料 3 より詳細な説明があった。

カナルの家では服薬にまつわる内容が多かった。

意見交換

Q：このような会議をいつから始めたのか？ 三〇様

A：冒頭でお伝えした通り 2025 年度（本年度）から義務化されました。年に 1 度このような機会を作り、参加していただくこととなります。

今回お声をかけていただいたが、将来的にご家族等が集まることも大変になるのでは。

Q利用者様の年齢は？ 畑〇様

A：分布としては

2024 年度は 20 代が 1 名、30 代が 1 名 40 台 2 名 50 代 4 名 70 台が 2 名

高齢化が進んでいると思う。これから先、高齢者施設と変わらないのではないかと。

障害福祉、高齢者福祉との狭間の方も多くなってきています。このような中でもご利用者様の意向、意思を尊重しながら支援をしていき、ホームの運営を行っていかうと思えます。

その他

ホームとしては

2F 全体的には明るい。いらっしゃる利用者様が挨拶をしてくれ、気軽に話しかけてきてく

れる。全体的に綺麗さを保っている。

改善点としては、イベントなども頑張ってもらいたい。何かあればできることはするから。
と、お話をいただきました。

3. 閉会

皆様からのご意見を真摯に受け止め、地域に貢献すること、地域との連携を障害福祉の一助とすべく尽力します。

【配布資料】

資料1 事業報告書（カナルの家）

資料2 カナルの家 BCP（事業計測計画）